

# 耐震等級 3 の木造住宅

■熊本地震における木造住宅の建築時期別の損傷比率（建築学会によって実施された益城町中心部における悉皆調査より）

損傷ランク		V(破壊) 倒壊	IV(大破) 全壊	Ⅲ(中破) 大規模半壊	Ⅱ(小破) 半壊	I(軽微) 一部損壊	無被害
損傷比率 ①	旧耐震基準 ～1981年6月	214棟 (28.2%)	133棟 (17.5%)	373棟 (49.1%)		39棟 (5.1%)	
	1981年6月 ～2000年5月	76棟 (8.7%)	85棟 (9.7%)	537棟 (61.2%)		179棟 (20.4%)	
	2000年 6月～	7棟 (2.2%) <sup>②</sup>	12棟 (3.8%)	104棟 (32.6%)		196棟 (61.4%)	
	新耐震基準 うち耐震等級3	0棟 (0%)	0棟 (0%)	0棟 (0%)	2棟 (12.5%)		14棟 (87.5%)
損傷イメージ ③	概念図						

建築学会により実施された益城町中心部の悉皆調査\*の結果、

「耐震等級3」の木造住宅は大きな被害がなかったことが証明されていました！

\* 悉皆（しっかい）調査：調査対象物件をみれなく調査する方法